

平成21年度  
芦屋市明るい選挙推進協議会  
総会資料

日 時 平成21年5月14日（木）午前10時～

## 総 会 次 第

1	開	会	
2	新委員委嘱式	委嘱状の付与（資料 <del>1</del> ）	1
3	選挙管理委員会委員長あいさつ		
4	会長あいさつ		
5	議	事	
	(1)	平成20年度常時啓発事業の実施結果について（資料2）	2
	(2)	平成20年度会自主会計収入支出報告について（資料3）	4
		監査報告	5
	(3)	各専門委員会の割り振り	
	(4)	平成21年度常時啓発事業の実施計画（案）について（資料4）	7
	(5)	平成21年度選挙時啓発事業の実施計画（案）について（資料5）	9
	(6)	平成21年度会計収入支出予算（案）について（資料6）	10
6	意	見	交
	換		
7	閉	会	

## 平成20年度常時啓発事業の実施結果

事業項目	事業内容
1 諸会議の開催	明推協総会 ① 日時 5月19日午前10時～12時 常任委員会 ① 日時 2月24日午前10時～12時 広報委員会 ① 日時 4月28日午前10時～12時 ② 日時 9月4日午前10時～12時 ③ 日時 12月18日午前10時～12時 講演会実施委員会 ① 日時 5月30日午前10時～12時 ② 日時 6月24日午前10時～12時
2 広報紙啓発事業	広報委員会委員により広報紙に白ばらだよりを掲載し、選挙啓発を行う。
3 啓発ポスター募集事業	市内の小・中・高校から明るい選挙の啓発ポスターを募集 募集期間 5月12日～9月12日 応募状況 小学校 8校 208点 中学校 6校 291点 高校 3校 13点 合計 17校 512点 審査 9月12日に審査を行い(特選2名・入選18名・佳作30名)、 特選及び入選作品20点を県の審査へ送付(県での入選1名)
4 明るい選挙推進旬間事業	明るい選挙啓発ポスター展 11月19日から12月1日まで市民センター空中通路にて佳作を含む50点を展示 明るい選挙推進大会 6月21日午前10時30分から市民センター音楽室にて講演会を開催 テーマ 「メディアのミカタ」～正しい判断は正しい情報から～ 講師 辛坊治郎氏(読売テレビ・報道局次長兼解説委員)
5 市民政治学講座	公民館と共催 政治学講座「世界はニュースだけではわからない」をシリーズで開催 第1回 10/18 「この政局を読む」 講師 泉和幸氏(参加者125人) 第2回 11/24 「現在の世界経済と日本の財政政策のゆくえ」 講師 永廣顕氏(参加者100人) 第3回 12/23 「宗教票から見た米大統領選挙と国際社会への影響」 講師 小原克博氏(参加者103人) 第4回 1/24 「世界同時不況をどう乗り切るか」 講師 安室憲一氏(参加者97人) 第5回 2/21 「『ねじれ国会』と民主主義」 講師 小西秀樹氏(参加者107人) 第6回 3/21 「最近のパレスチナ情勢と国連」 講師 酒井啓亘氏(参加者103人)
6 新成人啓発事業	20歳の誕生日に届くように、星座のイラスト入り「バースデーカード」と啓発冊子を送付 成人式(1月12日)にメッセージチラシと啓発資材を配布
7 阪神7市1町明推協連合会事業	総会 5月22日 研修会 2月26日
8 学校生徒会選挙支援事業	打出浜小学校 5月13日 宮川小学校 7月28日 潮見中 12月11日
9 交流事業	市区町明推協委員相互並びに県明推協委員との交流等を深めることを目的とし、県内全ての明推協委員を対象としたグループ討議による参加型・課題解決型の実践的な研修 研修会 2月10日

広報紙啓発事業

平成21年度広報あしや掲載記事

21年6月1日号

**白バラだより** 

二十歳になると、誰もが「選挙権」を与えられる。思い起こせば、小学生のクラス委員選びから、われわれは「選挙」を経験している。

日本で始めて国政選挙の選挙権が与えられたのは、明治二十二年で、国に税金拾五円以上納めている満二十五歳以上の男性だけであった。その後、すべての男性が選挙権を持つようになり、女性も選挙権を持つようになったのは昭和二十年からで、選挙権年齢も満二十歳になった。

大人になると、このような貴重な選挙権を放棄し、投票に行く人も少なくなるのは残念である。二十歳になってから「はい、投票に行きましょう」と言われても、すぐに自分の考えに合った候補者を選ぶ事は難しいので、その前から社会にしっかりと関心を持つていなければならない。

「小さい子に選挙なんてまだまだ」だと考えず、子どもと一緒に投票に行ったり、選挙を身近に感じるような環境を整えること。そのような保護者の姿勢が、大切なのではないだろうか。

問い合わせ 選挙管理委員会  
☎382100

21年10月15日号

**白バラだより** 

皆さんは、関心を持って、今回の衆議院選挙に行かれましたか。

もしかしたら、一票を入れることによって、何かが変わるかも知れないという思いで、行動に出た人が増えたのではないのでしょうか。

その結果、『政権交代』が実現しました。私たち一人一人の投票を通して、政治が大きく動いたのです。「政治に参加をしている」と実感されたかたも、多いのではないのでしょうか。今回の選挙は、選挙への関心を政治への関心へ、そして日本の未来を選択し国民自らの手で築いていくという、意志を持つ機会となりました。

どんな魅力的な政策も、実現しなければ、絵空事、国民の生活を守るため、みんな力を合わせ、じっくりと厳しい目を持っていきたいものです。

今後は、「私の一票がどう生かされたか」を、監視していく、大きな責任があるのではないのでしょうか。

問い合わせ 選挙管理委員会  
☎382100

22年2月15日号

**白バラだより** 

「政権交代」を多くの有権者が望み、私たち誰もが期待に胸を膨らませていたのは、少し前のことでした。

そんなつい先日、ある絵本作家の講演会に参加したのですが、そこで大変驚かされたことがあります。

今の子どもたちは夢を持つことが少なくなってきたといわれて久しいが、小学生の口から「安定した生活がしたい」と言う言葉聞いたのです。周りの大人が夢を持っていないから、子どもも夢を持っていないのか。夢につながるきっかけが奪われているのか。

望むのは、子どもたちが夢を見られるような、安心な社会の実現です。そのためには、政治家にもクリーンで有言実行の政治をしてもらい、就職・教育・福祉といった身近な問題が、少しずつでも現状より良くなるようにしていかなければなりません。

一方、国民一人一人も自分たちに関わってくることであると自覚し、今後の政治の動向を、厳しい目で見守っていかねければと、改めて思わされた出来事でした。

問い合わせ 選挙管理委員会  
☎382100

[資料3]

平成20年度自主会計収入支出報告

(収入)

単位：円

項目	収入額	内訳
繰越金	164,448	平成19年度からの繰越
協力金	0	
雑入	158	預金利子
合計	164,606	

(支出)

単位：円

項目	支出額	内訳
事業費	84,555	常任委員会費 会議費 4,000
		選挙時啓発委員会費 会議費 0 街頭啓発費 0
		講演会実施委員会費 会議費 10,000 推進大会 60,135
		広報委員会費 会議費 8,500
		会計監査 会議費 1,000
		市区町明推協研修 交通費(JR芦屋～元町) 420 活動費 500
		合計

収入164,606円 — 支出84,555円 = 残高80,051円

参考：常時啓発及び選挙時啓発事業の経費は、市の直接経費(20,000円)と阪神7市1町明推協連合会経費(30,000円)で執行。

## 監 査 報 告

平成20年度芦屋市明るい選挙推進協議会の会計について、事前に監査を行った結果を報告いたします。

監査は、芦屋市明るい選挙推進協議会規約第7条第4項の規定に基づき、会計帳簿・その他の関係書類及び銀行預金等照合検査したところ、その結果、収支ともに正当であると認めましたので、ここに報告いたします。

平成21年5月14日

監査委員代表 委 員 名

## 監 査 結 果

本日、平成20年度芦屋市明るい選挙推進協議会の会計について、

監査を行いました。

監査は、芦屋市明るい選挙推進協議会規約第7条第4項の規定に

基づき、会計帳簿・その他の関係書類及び銀行預金等照合検査した

ところ、それぞれ符号して正確であった。

平成21年4月22日

監査委員 委 員 名

委 員 名

[資料 4]

平成 2 1 年度常時啓発事業実施計画（案）

事業項目	実施時期	対象者	内 容
1 諸会議の開催	4 月～ 3 月	明推協委員	総会の開催 常任委員会・専門委員会の開催
2 広報紙啓発事業	4 月～ 3 月	一般市民	市広報紙による啓発 （白ばらだより）年 3 回
3 啓発ポスター募集事業	5 月～ 9 月	市 内 小 ・ 中 ・ 高校生	・ 明るい選挙の啓発ポスターを募集 ・ 明るい選挙啓発ポスター展 （啓発ポスター応募入選作品を市民センターに展示）
4 推進大会事業		一般市民	明るい選挙推進大会を開催
5 市民政治学講座（地域別講演会事業）	1 0 月～ 3 月	一般市民	政治学講座「世界はニュースだけではわからない」をシリーズで開催（公民館と共催）
6 議会の傍聴	6 月～ 3 月	明推協委員 一般市民	市議会本会議の傍聴
7 新成人啓発事業	4 月～ 3 月 1 月 1 1 日	新成人	・ 誕生日に「バースデーカード」と「啓発冊子」を送付 ・ 成人式に啓発資材を配布
8 阪神 7 市 1 町明推協連合会事業	4 月～ 3 月	選管委員 明推協委員 一般市民	総会，会議等に参加 地域別講演会， 地域リーダー養成研修の実施 啓発資材の配布
9 学校生徒会選挙支援事業	4 月～ 3 月	市 内 小 ・ 中 ・ 高	学校の生徒会選挙における投票箱・記載台等の貸出を行い実際の公職選挙に近い形の選挙を行う。有権者となる前に選挙の大切さを学び若年層の政治・選挙への関心の向上を図る。
10 交流事業	2 月	明推協委員	市区町明推協委員相互並びに県明推協委員を対象としたグループ討議による参加型・課題解決型の実践的な研修

## 平成21年第2回定例会会議予定表

月日	曜日	会 議	摘 要
5月28日	木		
5月29日	金		
5月30日	土		
5月31日	日		
6月1日	月	議案説明会	告示日
6月2日	火		
6月3日	水		
6月4日	木		
6月5日	金	議会運営委員会	
6月6日	土		
6月7日	日		
6月8日	月	本会議	開催，議会役員会選出 議案処理（提案説明－委員会付託）
6月9日	火	都市環境常任委員会	質問通告締切日
6月10日	水	民生文教常任委員会	
6月11日	木	総務常任委員会	
6月12日	金		
6月13日	土		
6月14日	日		
6月15日	月	議会運営委員会	
6月16日	火	本会議	一般質問
6月17日	水	本会議	一般質問、（追加議案）
6月18日	木	本会議（予備日）	
6月19日	金	本会議（予備日）	
6月20日	土		
6月21日	日		
6月22日	月		
6月23日	火		
6月24日	水		
6月25日	木	議案運営委員会	
6月26日	金	本会議	委員長報告－採決、閉会

## 本会議

傍聴席は65席あります。

傍聴券には、会議が開かれる時刻（通常午前10時）の30分前に、市役所議場の傍聴席入口（南館4階）で先着順に渡される一般傍聴券（30枚）と、各会派に割り当てられている議員紹介傍聴券等（35枚）があります。

## 委員会

大会議室又は委員会室で開きますが、大会議室は18人、委員会室は12人に限り傍聴できます。

原則として議員の紹介で傍聴する制度をとっており、事前に議員に申し出て傍聴券（紹介傍聴券）を入手します。又、議員が使用しない傍聴券を会議開始15分前から市議会事務局で先着順に渡しています。

[資料5]

平成21年度選挙時啓発事業の実施計画（案）

平成21年7月31日任期満了 兵庫県知事選挙  
平成21年9月10日任期満了 衆議院議員総選挙

事業項目	事業内容
1 掲示・掲揚物による啓発	<ul style="list-style-type: none"><li>・横断幕，立看板，のぼりを市内各所に掲示</li><li>・公用車にボディパネルを掲示</li><li>・啓発ポスターを公共施設，掲示板に掲示</li></ul>
2 印刷物による啓発	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報あしやに啓発記事を掲載</li><li>・啓発チラシを郵送で配布</li><li>・公共施設の窓口でチラシを配布</li></ul>
3 街頭啓発	<ul style="list-style-type: none"><li>・JR芦屋駅周辺において投票参加の呼び掛け，啓発資材の配布</li></ul>
4 放送等による啓発	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報車で市内を巡回しながら投票日の周知，投票参加を呼び掛け</li><li>・ケーブルテレビの広報チャンネルで，投票日等を啓発</li><li>・芦屋市ホームページに掲載</li></ul>

[資料6]

平成21年度自主会計収入支出予算（案）

（収入）

単位：円

項目	収入額	内訳
繰越金	80,051	平成20年度からの繰越
協力金	100,000	県知事選挙・衆議院選挙協力金
雑入	158	預金利子
合計	180,209	

（支出）

単位：円

項目	支出額	内訳
事業費	100,000	常任委員会費 10,000
		選挙時啓発委員会費 15,000
		講演会実施委員会費 50,000
		広報委員会費 25,000
予備費	80,209	
合計	180,209	

参考：市の直接経費として、推進大会講師謝金 20,000 円を別途予算化。

阪神7市1町明推協連合会経費 30,000 円。